

# 科目「現代文A」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	現代文A	単位数	3単位	学年・学科	3学年全学科
使用教科書	『新編現代文A』 (第一学習社)				
副教材等	『国語必携 ライトパーフェクト演習』 (尚文出版)、総合文字力 (尚文出版)				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	① 近代以降の様々な文章、特に随筆・小説などを読み、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ② 生涯にわたって読書に親しむ態度を育てること、多様な文章や考えに触れることをねらいとする。 ③ 国語の向上を図る態度や、言語文化の継承と創造の担い手となる資質を涵養する。
学習の到達目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、国語の能力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
取得可能な資格	特記なし。但し、日本漢字能力検定2級以上取得をした者には増加単位を与える。
授業を受ける心構え	授業には意欲的に取り組み、始業5分前には教科書やノートの準備をし、授業を「聞く」姿勢を整えておく。また、提出物は必ず期限を守って出す。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	・随想「なぜ、“コロンブスの卵”を描くのか」(福田哲夫) ・小説「相棒」(内海隆一郎) ・評論「数え方で磨く日本語」(飯田朝子)	・随想を読み、筆者の考えに触れることで、発想の面白さに気づく。 ・小説に描かれた世界に触れることで、豊かな情操を養う。 ・評論文を読み、筆者の考えを理解し、自身の生活について考える。	・一斉授業(座学) ・読書案内	中間考査 学期末考査 提出物
9 10 11 12	・評論「コミュニケーションの文化」(平田オリザ) ・随想「出島のチューリップ」(吉田直哉) ・小説「山月記」(中島敦)	・評論文の特徴を知る。本文やまわりの具体例を通してコミュニケーションの在り方について考える。 ・随想を読み、筆者の思いを理解し、自らの生活について考える。 ・山月記を読んで、人間誰もが抱える内面の苦悩に触れ、自身の生き方について考える。	・一斉授業(座学) ・読書案内	中間考査 学期末考査 提出物
1 2 3	・小説「山月記」(川上弘美)		・一斉授業(座学) ・読書案内	学年末考査 提出物

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
・近代以降の様々な文章や文体に触れ、我が国の言語文化に対する理解を深め、読書に親しむ。 【定期考査・提出物・出席状況・授業態度】	筆者の考えに対する自分の思考を深め、授業での学習事項を基本として、自らの考えや意見を表現する創造的な能力を身に付けている。 【定期考査・感想文(初発の感想を含む)・授業態度】	基礎的・基本的な「文章を読むための要点」を身に付け、筆者の主張や文章の要旨を的確に読み取る。 【定期考査・授業態度】	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、国語学習の基本的知識を身に付けている。 【定期考査・提出物】

## 4. 評価の規準(評価の観点については、各教科・科目で検討ください)

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)	25	10	15	20	70	学習到達度の確認
提出物等	5	5		10	20	予習・復習の確認
授業態度・発表	2		5		7	取り組む姿勢
出席状況	3				3	授業参加意欲
競技会・資格取得						目標到達度評価(+α)
					100%	

# 科目「世界史A」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	地理歴史（世界史A）	単位数	2単位	学年・学科	3学年 全学科
使用教科書	世界史A（東京書籍）				
副教材等					

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	現代世界の基本的な構造とその変動について歴史的観点から把握する。
学習の到達目標	歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
取得可能な資格	なし
授業を受ける心構え	諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら現代の諸課題を歴史的観点から考察する。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考查
4	序章 古代文明の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の誕生から古代文明の成立までの背景や流れ・人類や文明の区分を理解する。</li> <li>・ユーラシア一帯の地域ごとの歴史の流れや国家成立の背景を理解する。</li> <li>・アジア諸帝国の繁栄と衰退、十字軍派遣以降のヨーロッパの繁栄と社会への影響を理解する。</li> <li>・市民革命などの影響と、欧米の海外進出やそれに伴うオスマン帝国の衰退について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業(座学)</li> <li>・新聞・ICT等による資料・画像の活用</li> </ul>	中間考查  学期末考查
5	1章 ユーラシアの諸地域世界			
6	2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ			
7	3章 大西洋世界の変容とその波及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン体制後の自由主義とナショナリズムの展開を理解し、帝国主義の展開による世界への影響を理解する。</li> <li>・二つの大戦の原因と経過、結果を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業(座学)</li> <li>・新聞・ICT等による資料・画像の活用</li> </ul>	中間考查  学期末考查
8	4章 産業社会の拡大と成熟			
10	5章 アジア諸国の変貌と日本			
11	6章 帝国と民族の時代			
12	7章 二つの世界大戦の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦体制の成立と第二次大戦後のアジア・アフリカの民族独立や紛争について理解し、冷戦後のグローバル化や地域統合の動きを理解する。</li> <li>・冷戦後の世界でおこった地域紛争の歴史的背景について探求し、今後どうするかを考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業(座学)</li> <li>・新聞・ICT等による資料・画像の活用</li> </ul>	学年末考查
1	8章 冷戦と民族独立の時代			
2	9章 グローバル化のなかの危機			
3	終章 21世紀に生きる			

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追求しているか。 【授業態度, 提出物, 出席状況】	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界的視野に立って多面的・多角的に考察しているか。 【考查, 授業態度, 提出物】	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。 【提出物】	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身に付けているか。 【考查】

## 4. 評価の規準

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考查(平常)	10	20		40	70	学習到達度の確認
提出物等	10	5	5		20	予習・復習の確認
授業態度・発表	3	2			5	取り組む姿勢
出席状況	5				5	授業参加意欲
競技会・資格取得					0	目標到達度評価(+α)
					100%	

科目「数学A」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

科目	数学A	単位数	2単位	学科・学年	3年数学選択者
使用教科書	改訂版 新 高校の数学A (数研出版)				
副教材等	改訂版 ポイントノート数学A (数研出版)				

1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	筋道を立てて論理的に考える習慣を身に付け、情報化社会の中でたくましく活躍していこうとする態度が育てられ、数学の学習の必要性が認識できる。
学習の到達目標	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
取得できる資格	なし
授業を受ける心構え	就職・進学に関わらず、現代社会を生きていくのに必要な知識・思考力等を身に付けるための基本的な科目であることを念頭に置き、積極的に授業に取り組む。

2. 計画

月	学習内容	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	1章 場合の数と確率 順列・組合せ 確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	教科書 問題演習	定期考査
9 10 11 12	2章 図形の性質 平面図形 空間図形	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	教科書 問題演習	定期考査
1 2 3	3章 整数の性質	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	教科書 問題演習	定期考査

3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は方法	数学的な見方や考え方 【 】は方法	数学的な技能 【 】は方法	知識・理解 【 】は方法
場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。  【授業態度、発表、ノート等】	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。  【発表、ノート、提出物等】	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。  【発表、ノート、提出物、平常・定期考査等】	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。  【発表、ノート、提出物、平常・定期考査等】

4. 評価の規準

評価項目	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	項目間の比率 (%)	その他
定期考査・平常考査	5	20	20	25	70	学習度の確認
提出物等	2	4	2	2	10	予習・復習の確認
授業態度・発表	3	6	3	3	15	取り組む姿勢
出席状況	5	0	0	0	5	欠席理由の明確化
資格・検定試験					0	目標到達度評価
					100%	

## 科目「化学基礎」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	理科(化学基礎)	単位数	2単位	学年・学科	3年農業科, 園芸科, 畜産科学科, 生活文化科
使用教科書	第一学習社 「高等学校 改訂 新化学基礎」(化基322)				
副教材等	第一学習社 「ネオパネルノート 改訂 化学基礎」				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	身近な事象・現象に関する観察・実験を通して、化学の基本的な概念を学習する。
学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。</li> <li>2. 原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。</li> <li>3. 原子量の概念、物質量の定義、濃度の定義を理解できる。</li> <li>4. 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察できる</li> </ol>
取得可能な資格	特記事項なし
授業を受ける心構え	授業開始のチャイムがなるまでに教科書等を机に出し、席に座って先生を待つ。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	化学と人間生活 物質とその構成要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の利用、身近な物質、物質の状態変化を理解する。</li> <li>・混合物と純物質、成分元素を理解する。</li> <li>・原子の構造、電子配置等を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業(座学)</li> <li>・実験(分割)</li> </ul>	プリント・問題集 点検 中間考査 学期末考査
9 10 11 12	物質と化学結合 物質量と濃度 化学反応と量的関係 酸と塩基の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンや分子の存在や関連する化学結合等を理解する。</li> <li>・原子量、分子量、式量の扱い方や物質の量を表す方法、濃度を表す方法を理解する。</li> <li>・化学反応方式の係数比＝物質質量比＝粒子数比を理解する。</li> <li>・酸、塩基の基本的な定義を理解し、中和の関係式を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業(座学)</li> <li>・実験(分割)</li> </ul>	プリント・問題集 点検 中間考査 学期末考査
1 2 3	酸化還元反応 電池と電気分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化、還元の基本的な定義を理解する。</li> <li>・ボルタ電池、ダニエル電池の仕組みや水溶液の電気分解をりかいする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業(座学)</li> <li>・実験(分割)</li> </ul>	プリント・問題集 点検 学期末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
物質の成り立ちや物質の変化に関連した学習課題に関心を持ち、科学的な態度で観察、実験、調査などを行い、意欲的に探究しようとする。 【提出物・テスト・発問・授業態度・出席】	物質の成り立ちや物質の変化に関連した学習課題に対し、観察・実験・調査などを計画・実施し、得られた結果に基づいて社会などの関連も踏まえて総合的に考察できる。 【提出物・テスト・発問】	観察、実験、調査などを通して物質の成り立ちや物質の変化に関連した学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身につけている。 【提出物・テスト・発問】	観察、実験、調査などを通して物質の成り立ちや物質の変化に関連した学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身につけている。 【提出物・テスト・発問】

## 4. 評価の規準(評価項目については、各教科・科目で検討ください)

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)		15		35	50	学習到達度の確認
提出物等	20			10	30	復習状況等の確認
授業態度・発表	5		5		10	取り組み姿勢
出席状況	10				10	授業参加意欲
競技会・資格取得						目標到達度評価(+α)
					100%	

## 科目「 体育 」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	体育	単位数	3単位	学年・学科	全学科3学年
使用教科書	なし				
副教材等	アクティブスポーツ2021				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	体を動かし、爽快感、達成感、他者との連帯感、楽しさや喜びを味わい、体力向上、ストレスの発散、生活習慣病予防等の効果をもたらす、心身両面の健康の保持増進を促す。
学習の到達目標	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
取得可能な資格	特記なし
授業を受ける心構え	欠席や忘れ物をする事なく、主体的に授業に出席する。公正な態度で、協力的に動き、行動に責任を持つ。水泳および長距離走は完全実施（補習がある）。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4	体づくり運動	○体を動かす、心と体をほぐす、動きを高める	一斉・グループ 個別	ラジオ体操 水泳 球技 補習(水泳)
5	集団行動、ラジオ体操	○集団行動を学ぶ、ラジオ体操を学ぶ		
6	水泳・球技選択	○4泳法に挑戦するとともに、命について学ぶ		
7		○仲間との協力とともに技能を高める		
9	球技選択	○仲間との協力とともに技能を高める。	一斉・グループ 個別	球技 陸上競技 補習(長距離) ロードレース
10	体育理論	○公正、協力、責任、参画の態度を学ぶ。		
11	陸上競技(長距離走)	○運動の持続力、集中力を高め、タイムに挑戦する。		
12	球技選択			
1	体づくり運動	○体力の向上に重点を置き、体力を高めるための運動、実生活に生かせる運動を行う。	一斉・グループ 個別	球技 陸上競技
2	球技選択			
3	体育理論	○活動計画を立て、実践する。		

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康安全を確保して主体的に取り組もうとする。 【授業態度、出席状況】	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間との課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。 【発表、ワークシートレポート】	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。 【技能テスト・記録測定】	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法や豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 【理解度チェック、発表等】

## 4. 評価の規準(評価項目については、各教科・科目で検討ください)

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
テスト・測定・提出	10	20	30	10	70	
授業態度・発表	10	5		5	20	
出席状況	10				10	
					100%	

## 科目「英語表現Ⅰ」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	英語表現Ⅰ	単位数	2	学年・学科	3年農業科・園芸科・畜産科学科・食品化学科 ・生活文化科
使用教科書	SELECT English Expression New Edition (三省堂)				
副教材等	SELECT English Expression WORKBOOK (三省堂)、コーパス1800 (東京書籍)				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	英語の構造に気をつけて、文章を書いたり自己表現を行ったりする。
学習の到達目標	1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 2. 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4. 言語についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
取得可能な資格	実用英語技能検定
授業を受ける心構え	授業に積極的に参加し、教材プリントやノートをきちんと仕上げ、提出する。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	言語材料・言語活動	その他・考査
4 5	Lesson 1 自己紹介 Lesson 2 宇宙で食事 Lesson 3 世界へ羽ばたけ Lesson 4 エーゲ海への旅	・あいさつなど自己紹介をする表現 ・世界の様々な食文化を知る ・世界で活躍するスポーツ選手を知る ・旅行をテーマに学習する	・現在形 ・過去形 ・進行形 ・未来表現	1学期中間考査
6 7	Lesson 5 アイドル Lesson 6 祭りだ! Lesson 7 未来のエネルギー Lesson 8 世界平和	・アイドルをテーマに学習する ・伝統文化やサブカルチャーなどの日本文化 ・新エネルギーと環境問題について ・世界平和をテーマに学習する	・現在完了形 ・現在完了形 ・助動詞 ・助動詞	1学期期末考査
9 10	Lesson 9 美ら海水族館 Lesson 10 未来を拓く Lesson 11 はやぶさ2 Lesson 12 不思議な絵	・人気動物をテーマに学習する ・様々な人の生き方を知り自分の生き方を考える ・自然科学をテーマに学習する ・様々な分野の芸術作品をテーマに学習する	・不定詞I ・不定詞 ・動名詞 ・受動態	2学期中間考査
11 12	Lesson 13 ヒエログリフ Lesson 14 私たちの街 Lesson 15 書道甲子園	・様々な形で用いられる言語をテーマに学習する ・その土地特有のご当地ものをテーマに学習する ・活躍する高校生をテーマに学習する	・分詞 ・関係代名詞 ・関係副詞	2学期期末考査
1	Lesson 16 どれが一番?	・著名な建築物や地理・自然を比較しながら比較級や最上級を学習する	・比較	学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
・授業中に積極的に質問したり、答えたりしているか。 ・提出物などきちんと提出しているか。 【授業中の態度】 【提出物】 【出席状況】	・自分の考えや意見を基本的な英語を使って表現できるか。 【定期考査】 【プリント・ノート】 【提出物】 【授業中の態度】	・Speaking, Writingの基本的な技能の習得ができたか。 【定期考査】 【プリント・ノート】 【提出物】 【授業中の態度】	・基本的な単語・例文を暗記でき、簡単な内容の英文を書けるか。 【定期考査】 【プリント・ノート】 【提出物】 【授業中の態度】

## 4. 評価の規準(評価項目については、各教科・科目で検討ください)

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)	10	20	20	20	70	学習態度の確認
提出物等	10	0	0	0	10	予習・復習の確認
授業態度・発表	10	0	0	0	10	取り組む姿勢
出席状況	10	0	0	0	10	欠席理由の明確化
競技会・資格取得	プラスα	プラスα	プラスα	プラスα	プラスα	目標到達度評価
					100%	

## 科目「課題研究（生物活用）」シバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	課題研究	単位数	2単位	学年・学科	3学年・全科
使用教科書					
副教材等					

### 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、農業に関する諸問題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会の発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育てる。
学習の到達目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力などの農業の各分野の改善を図る実践的な態度を育てる。
取得可能な資格	特になし。
授業を受ける心構え	主体的に課題設定を行い、課題解決学習ができること。主体的な農業学習が行えること。

### 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4	課題設定	・年間計画に基づいた草花及び農作物栽培の基本的な知識と技術を身につけさせる。 ・草花及び農作物の活用の可能性を探り、課題解決に必要な知識と技術を身につけさせる。	・班別実習	課題レポート 小テスト
5	草花及び農作物の栽培管理			
6	プロジェクト学習			
7				
9	草花及び農作物の栽培管理	・農業と家庭分野の見方・考え方を理解し、課題解決に必要な知識と技術を身につけさせる。 ・個々の課題解決に向けた研究実践を通して、観察力、分析力を養う。	・班別実習	課題レポート 技能試験
10	プロジェクト学習			
11				
12				
1	プロジェクト学習のまとめ	年間の研究のまとめを行う。	・班別実習	課題レポート
2		プロジェクト学習の成果をまとめ、検証し、報告させる。		
3				

### 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
農業と家庭分野について興味関心を持ち、管理実習や自ら計画を立てたプロジェクト学習について意欲的に取り組もうとしている。【学習状況、出席状況】	農業と家庭分野の見方と考え方を生かし、プロジェクト学習の成果について分析と検証を行い、的確に表現できる。【学習状況、課題レポート】	各自のテーマに基づいたプロジェクト学習に必要な基本的な技術を身につけ、調査・研究の記録と分析がきちんとできる。【課題レポート・実習状況・技能試験】	各自のテーマに基づいたプロジェクト学習に必要な基本知識が身につけている。課題研究の取り組みに関し、その内容と結果が理解できている。【課題レポート・小テスト】

### 4. 評価の規準(評価の観点については、各教科・科目で検討ください)

評価項目	評価の観点					比率(%)	その他
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解			
定期考査(平常)							学習到達度の確認
提出物等	5	10		15	30		実習日誌・卒業論文
授業態度・発表	10	5	20	5	40		取り組む姿勢
出席状況	20	5	5		30		欠席理由の明確化
競技会・資格取得							目標到達度評価(+α)
					100%		

## 科目「総合実習」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科	総合実習	単位数	3単位	学科・学年	生活文化科・3学年
使用教科書	なし				
参考資料	特記なし				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	野菜と草花の基礎基本、環境美化について学ぶ。実習主体の科目である。農業クラブ活動に関わる内容も学ぶ。生産・管理方法、販売や経営についても実習と併行しながら学ぶ。
学習の到達目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。
取得可能な資格	特記なし
授業を受ける心構え	興味・関心・意欲を持つ。集中力を持って臨む。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容（目次の項目）	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4/5 /6/	【季節の草花、環境美化】 実習（肥培管理、販売等）	春夏作の草花について、栽培と活用に関する知識と技術を習得する。草花の活用について、体系的に理解する。	技能実習 知識学習 環境美化	期末考査 技能試験
9/ 10/ 11/ 12/	【季節の草花、環境美化】 実習（肥培管理、販売等） 農場センター周辺、学年の花壇作りと環境美化	草花苗生産から花壇製作等の活用に取り組み、活用法や必要な知識、技術の習得を行う。 環境美化等の景観管理を通じて、維持・管理の実践的手法の習得と主体的な意欲を身に付ける。	技能実習 知識学習 販売実習	期末考査 技能試験
1/2	【野菜と草花、環境美化】 実習（肥培管理、販売等）	秋冬作の草花について、栽培と活用に関する知識と技術を習得する。学習のまとめを行う。	知識学習 技能実習	学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
課題に対する興味・関心が高まり、その問題を追究しようとすることができたか。 【学習状況・学習態度及び意欲】	適切な実習ができたか、さまざまな視点で考察することができたか。 【学習記録・定期考査・技能試験・課題レポート】	理解をし、きちんと実習を行えたか、また、合理的に表現することができたか。 【技能試験・実習成果】	単元の目標、作目内容を正しく理解して学習できているか。 【定期考査・実習成果・技能試験・課題レポート】

## 4. 評価の基準（評価項目については、各教科・科目で検討ください）

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率%	その他
定期考査（平常）		20		30	50	学習到達度の確認
課題等		5		5	10	提出状況・成果
学習状況・成果	10		5		15	出欠含む・意欲等
技能試験		5	10		15	授業参加意欲
競技会・資格取得	5	5			10	目的到達度（+α）
					100%	

## 科目「草花」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科	草花	単位数	6単位	学科・学年	生活文化科・3学年
使用教科書	『草花』 実教出版 発行				
参考資料	特記なし				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	農業の草花に関するプロジェクト学習を通して、栽培管理技術、問題解決能力、または経営能力を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解したうえでの管理能力や企画力など、農業の各分野の改善を図ることのできる実践的な能力と態度を育てる。
学習の到達目標	草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育成する。また、科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野の発展を図る能力と態度を育てる。
取得可能な資格	特記なし
授業を受ける心構え	興味・関心・意欲を持つ。集中力を持って臨む。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容（目次の項目）	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4/5/6 /	2. 生活と草花の利用 実習（肥培管理、販売等） プロジェクト学習	「草花の多面的利用」、「園芸デザイン」について理解し、活用に必要な技術を習得させる。プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組ませる。	実習 知識学習 プロジェクト学習	課題レポート 期末考査
9/10/ 11/12	6. 花壇用草花生産 実習（肥培管理、販売等） プロジェクト学習	「花壇用草花生産の特色」「花壇用草花の栽培」について理解し、活用に必要な技術を習得させる。プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組ませる。	実習 知識学習 プロジェクト学習	中間考査 期末考査
1/2 /3	7. 草花経営の改善 プロジェクト学習	「草花経営の改善」について理解させる。	知識学習 プロジェクト学習	課題レポート 学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
草花の栽培に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。【態度・服装・出欠】 【考査・実習・レポート】	草花に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、草花に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。【記録・態度・考査】 【実習・レポート】	草花の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、草花に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 【記録・研究発表】 【考査・実習・レポート】	草花の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花の意義や役割を理解している。 【考査・研究発表】 【実習・レポート】

## 4. 評価の基準

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率%	その他
定期考査（平常）		20		40	60	学習到達度の確認
提出物等	5	5		5	15	予習・復習の確認
授業態度・発表	5	5	5		15	取り組む姿勢
出席状況	10				10	授業参加意欲
					100%	

## 科目「生物活用」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校生徒用

教科	農業	単位数	2単位	学年・学科	3学年・生活文化科
使用教科書	生物活用（実教）				
副教材等					

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	動物飼育の知識と技術を身につけ、生物活用の効果と活用法について学ぶ。
学習の到達目標	生活の質の向上と思いやりを持ち、しなやかに生きる能力と態度を身につける。
取得できる資格	なし
授業を受ける心構え	イヌ、ネコ、ウマ等各種動物の特性を理解する

## 2. 学習指導計画

月	学習内容	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4	生物活用の意義と役割	生物活用の意義について理解する 動物介在教育の効果	・一斉授業 ・調べ学習	中間考査
5	教育ファーム活動			
6	イヌ・ネコの飼育と管理			
7	乗馬療法について			期末考査
9	教育ファーム活動	動物介在教育の実践 動物の生態や特徴について調べ学習を行い、クロムブックで発表し、その成果をまとめる。	・教育ファーム実践 ・調べ学習	中間考査
10				
11				
12	成果発表		・学習発表会	期末考査
1	動物介在活動のまとめ	年間のまとめ	・卒論のまとめ	学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
各種動物の特性や生態・習性に関心を持ち、調べ学習に対して、意欲を持ち積極的に参加し動物全般について理解する。 【授業態度、出席状況】	学ぶ目的と学び方及び学習分野について考察する。 【考査、レポート、授業態度】	調べ学習の目的に応じた資料を適切に判断し、活用できる。 【授業態度、発表】	各種動物の特性に関する基礎的・基本的な知識をもとに、活用方法や介在活動について理解する。 【考査、レポート】

## 4. 評価の規準

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査・平常考査	10	10	10	10	40	学習到達度の確認
提出物等	10	5	5		20	予習・復習の確認
授業態度・発表	10	20			30	取り組む姿勢
出席状況	10				10	授業参加意欲
競技会・資格取得						目標到達度評価(+α)
					100%	

## 科目「子どもの発達と保育」シバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	子どもの発達と保育	単位数	2単位	学年・学科	3学年・生活文化科
使用教科書	子どもの発達と保育(実教出版)				
副教材等	なし				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	子どもの発達の特性や発達過程を学び、保育に関する知識と技術を習得する
学習の到達目標	子どもの発達や子育てに関心を持ち、子どもに関わることができるようになる
取得可能な資格	なし
授業を受ける心構え	子どもや子育てに対して興味・関心を持つ

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	1章 人間としての発達 2章 発育することと発達 すること	発達観、胎児から新生児へ、乳幼児の発育、 乳幼児の精神発達	絵本の読み聞かせ 季節の飾り付け 保育園実習 保育講話	レポート提出  学期末考査
9 10 11 12	3章 子どもの生活 4章 ともに生活する	生活と養護 生活習慣の形成、健康管理と事故 予防、保育の目的、乳幼児の遊び	絵本製作 保育園実習 季節の飾り付け おやつ調理実習 DVD視聴	レポート提出  学期末考査
1 2 3	5章 子どもの福祉	児童福祉	おもちゃ制作 保育園実習 季節の飾り付け	レポート提出 学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
子どもの発達の特性や生活に関心を持ち、授業に意欲的に取り組むことができる 【授業態度、出席状況、レポート】	子どもの発達や生活に関する課題に対して思考を深め、学習したことを活用し、創意工夫することができる 【考査、レポート、授業態度】	子どもの発達の特性、子どもの生活と保育などに関する技術を身に付け、発達過程に対応した技術を身に付けている 【授業態度・発表】	子どもの生活と保育などに関する知識を身に付け、保育の必要性や重要性を理解することができる 【考査、実習の記録】

## 4. 評価の規準(評価項目については、各教科・科目で検討ください)

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)		20		40	60	学習到達度の確認
提出物等	5	5	10	10	30	
授業態度・発表	5				5	取り組む姿勢
出席状況	5				5	授業参加意欲
競技会・資格取得						
					100%	

## 科目「生活と福祉」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	家庭科	単位数	2単位	学年・学科	3学年・生活文化科
使用教科書	生活と福祉(実教出版)				
副教材等	なし				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	高齢者福祉を中心とし、生涯にわたる健康と生活の管理及びそれを支える社会保障・福祉制度などに関する知識と技術の習得をさせる。
学習の到達目標	家庭看護や高齢者介護の充実を図る能力と態度を育てる
取得可能な資格	特記なし
授業を受ける心構え	高齢者を敬い、看護・福祉に携わる人としての敬意を持ち、授業に取り組む。

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	人の一生と生活・健康 高齢化の現状と高齢者の特徴 介護・看護の実習と生活支援	・人の生活と健康、QOLについて考える。 ・家族の健康管理や病気の種類・予防について理解する。 ・高齢化や高齢者の心身の特徴を理解する。 ・介護・看護技術を身につける。	・高齢者擬似体験 ・ベッドメイク ・体位変換 ・応急手当	期末考査
9 10 11 12	高齢者の自立生活支援 介護・看護の実習と生活支援 高齢者支援の法律と制度	・高齢者の生活支援の方法を考える。 ・介護・看護の技術を身につける。 ・福祉・高齢者に関する法律と制度をしり、今後の高齢者支援について考える。	・車いす実習 ・衣服の着脱 ・食事介助 ・UDの介護服 ・UDフード	期末考査
1 2 3	介護・看護の実習と生活支援 レクリエーション実習	・介護・看護の技術を身につける。 ・高齢者や障害のある方とのレクリエーションの方法について理解し、実践する。		学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
看護・介助に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。【授業態度、出席状況】	福祉に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。【考査、レポート、授業態度】	福祉の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。【授業態度・発表】	福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、健康的な食生活の意義や役割を理解している。【考査、レポート】

## 4. 評価の規準(評価項目については、各教科・科目で検討ください)

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)		20		40	60	学習到達度の確認
提出物等	5	5		5	15	予習・復習の確認
授業態度・発表	5	5	5		15	取り組む姿勢
出席状況	10				10	授業参加意欲
競技会・資格取得						目標到達度評価(+α)
					100%	

## 科目「ファッション造形」シバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	ファッション造形	単位数	6単位	学年・学科	3学年 生活文化科
使用教科書	ファッション造形(実教出版)				
副教材等	なし				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	被服製作に関する知識や技術を身に付け、主体的に衣生活を営む力を高める
学習の到達目標	衣服の縫製に関する知識を習得した上で、応用的な技術を身に付ける
取得可能な資格	全国高等学校家庭科被服製作技術検定1級(和 または 洋)
授業を受ける心構え	衣生活における知識や技術の定着を図り、環境との繋がりを考え、実生活へ活かす

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	4章 和服の製作	・和服構成(平面構成)を理解させる ・和服の縫い方・始末の仕方を身に付けさせる ＜浴衣の製作＞ 家庭科技術検定1級和服	・一斉授業(座学) ・作品製作	中間考査  学期末考査
9 10 11 12	1章 衣服とデザイン 2章 ファッションショーの作り方 3章 洋服の製作	・浴衣の着つけができるようになる ・デザインや素材の選定ができるようになる ・作品のコーディネートを考える ・ファッションショーに向けての製作 ・ファッションショーの構成 ＜自由課題製作＞	・一斉授業(座学) ・作品製作 (自由課題作品)	中間考査  学期末考査
1 2		・洋服の縫い方・始末の仕方を身に付けさせる ・作品についてのまとめ ・衣生活とSDGS ・余り布を用いたパッチワーク製作	・作品製作	学年末考査

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
裁縫の技術や知識の習得に積極的に取り組む。 【授業態度、課題提出、※出欠】	裁縫の基礎・基本を理解し、技術の習得について理解しようと努めている。 【考査、レポート、学習発表】	実習を通して、基本的な技術を見つけて、実践・応用することができる。 【実技テスト・作品製作】	課題に対して確実な知識、理論を考察し活用できる。 【考査、実習の記録】

## 4. 評価の規準

評価の観点 評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)		10	10	20	40	学習到達度の確認
提出物等	10	5	30	5	50	提出期日の確認
授業態度・発表	5				5	取り組む姿勢
※出席状況	5				5	授業参加意欲
競技会・資格取得						目標到達度評価(+α)
					100%	

# 科目「調理」シラバス

熊本県立菊池農業高等学校 生徒用

教科(科目)	家庭科	単位数	6単位	学年・学科	3学年・生活文化科
使用教科書	調理1 (実教出版)				
副教材等	なし				

## 1. 学習を始めるにあたって

科目の特徴	食生活の充実向上を目指し、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う
学習の到達目標	調理の基礎・献立作成などについて理解し、関連する技術を身に付ける
取得可能な資格	全国高等学校家庭科食物調理技術検定1級および2級
授業を受ける心構え	食生活を栄養的役割や文化的な意義、精神的な満足と合わせて学習する

## 2. 学習指導計画

月	学習内容(目次の項目)	学習活動・ねらい	実習・演習	その他・考査
4 5 6 7	1章 食の文化  2章 調理の基本  プロジェクト学習	・食品の特徴と性質を理解させる 調理実習①「西洋料理」 調理実習②「日本料理」 ・料理様式と献立を理解させる 調理実習③「中国料理」 調理実習④「日本料理(行事食)」	・一斉授業 ・調理実習	中間考査 レポート提出 学期末考査 レポート提出
9 10 11 12	3章 調理の種類と献立 食物調理技術検定1級 筆記試験対策 実技試験対策 プロジェクト学習	・検定試験について理解し、供応食の献立を立てることができるようになる ・献立どおりの作品を仕上げることができるようになる	・一斉授業 ・調理実習	中間考査 レポート提出 学期末考査 食物検定
1 2 3	4章 大量調理  プロジェクト学習	・大量調理の手法や注意点について理解させる	・一斉授業 ・調理実習	学年末考査 レポート提出

## 3. 評価の観点と方法

関心・意欲・態度 【 】は評価方法	思考・判断・表現 【 】は評価方法	技能 【 】は評価方法	知識・理解 【 】は評価方法
調理に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 【授業態度、レポート】	現代の調理に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、食に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。【レポート】	食品や栄養、調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、食分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。【実習】	食品や栄養、調理に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、健康的な食生活の意義や役割を理解している。 【考査、レポート】

## 4. 評価の規準(評価項目については、各教科・科目で検討ください)

評価項目	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	比率(%)	その他
定期考査(平常)	5	20		30	55	学習到達度の確認
提出物等		5		5	10	予習・復習の確認
授業態度・発表	5	5	5		15	取り組む姿勢
出席状況	10				10	授業参加意欲
競技会・資格取得			10		10	目標到達度評価(+α)
					100%	